

2023年 11月  
千葉県 鴨川市

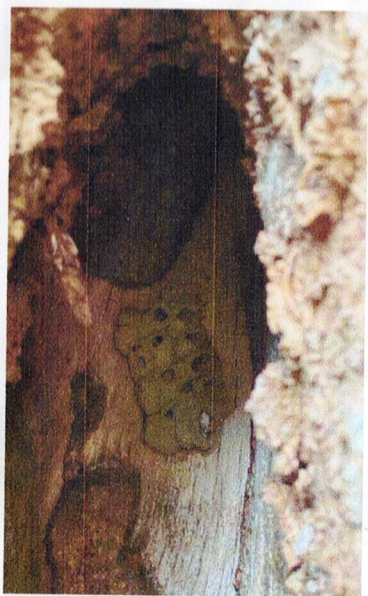
大山千枚田

見つけた生きものについて





# 田んぼにいた生きもの



## アシナガバチの特ちょう

体長: 2~3cm

体形: スマートで手足が長い

## アシナガバチのすの特ちょう

15cmくらいまでの大きさでシャワーヘッドのような形。

雨や風をしのげるかんそうしたばしよに作られることが多い。

青虫、毛虫、かめ虫、バッタなどを食べる。

冬どうするのは女王バチだけ。

アシナガバチのす

大山千枚田では木のうろにありました。





サシカメムシの牛持ちょう<sup>サ</sup>  
ふつうのかめ虫とちがって肉食性。

大山千枚田ではかまれていたといっている人  
がいたかったそうです。





## アマガエルの特ちょう

体長: 2~5cm めすのほうが大  
メスのほうが大きい

生そくするばい、水田やにお、森林など。  
肉食性で小さなこん虫くもなどを食べる。



ミノムシの中みはミノガのよう虫。

ミノムシは夏のはじめにたまごから生まれ、秋まで木の葉を食べながらそだつ。冬はミノの中で冬みんする。

かね葉やえだで作ったミノをきて、ぶらさがることによって、まわりのけしきにとけこみ、鳥などのてんてきに見えにくくなる。

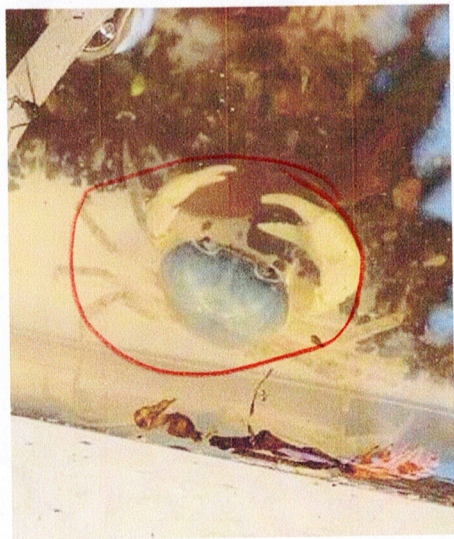
オスは成虫になるとガになり、メスはミノの中にとどまる。においを出してオスをよび、こうびをして、ミノの中にたまごをうみ、ミノの中で死ぬ。じゅみょうは一年。



ミノムシとイトミノムシ

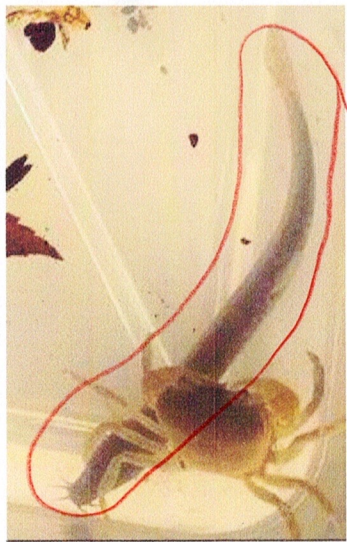


# 川の生きもの



サワガニ

水がきれいなけいりゅうや  
小川の上りゅうや中りゅうに多い。  
春から秋にかけてかっぱうし。  
冬はいちがげにかくれて冬みん  
する。石やいわのうらにいた。



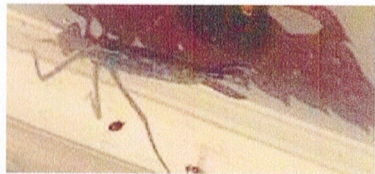
ドジョウ

コイのなかま。  
えらこぎゅうのほかにも、  
なうかんこぎゅうもする。  
また、ひるこぎゅうもできるため、  
水の外でもしばらく生きられ  
る。





コオニヤンマのヤゴ



ヤゴとは？  
トンボのよう虫。トンボは、秋から冬にかけて水べにたまごをうむ。そして、春になると、

公園のいけや田んぼ、川、そして学校のプールなどの水べでたまごからかえり、よう虫(ヤゴ)になる。

秋になって田んぼから氷がなくなると、

用水ろなどでいどろし、冬をこす。

冬の間はどろの中にかくれている。

つぎの春羽化してもトンボになる。



# 田んぼや山のしょくぶつ



## ヒガンバナ

もともと、中国やネパール  
かん国に自生していた  
ものが、ふるい時代に日本  
につたわった。

ヒガンバナには、「まじゅしゃげ」  
をはじめ1000以上の名前がある。

「地ごく花」「ゆうれい花」「どく花」な  
ど。

花は秋のひがみのころにさく。

全草がやどくぞ、きり根を作る  
多年草。

イヌタデは、4月~11月にかけて  
かい花する。赤むらさき色の花  
をさかせる。